

第12 - G2号

2012.5.14

「わかりやすい箱根、まわりやすい箱根」の更なる実現と温泉地箱根の魅力アップを目指して小田急箱根グループでは、総額約35億円規模の大型投資を実施します。

日本有数の観光地、箱根での交通サービスを中心に事業を展開している小田急箱根グループの箱根観光船(株)、箱根ロープウェイ(株)、箱根施設開発(株)、箱根登山鉄道(株)の4社では、「箱根海賊船 新型海賊船の建造」、「箱根ロープウェイ 大涌谷駅舎の建替え」、「箱根湯本温泉 日帰り温泉施設の新設」、「箱根登山電車 新型車両の製造」について決定し、新たに総額約35億円規模の設備投資を実施いたします。計画の概要は下記のとおりです。

それぞれの完成時期は2013年3月以降となりますが、小田急箱根グループではこの設備投資により、「わかりやすい箱根、まわりやすい箱根」の更なる実現と温泉地箱根の魅力を高め、お客さまに一層快適なご旅行をお楽しみいただけるよう取り組んでまいります。

記

【大型投資の主なポイント】

- 2013年春 芦ノ湖に新型海賊船が就航**
18世紀フランスの第一級戦艦「ロワイヤル・ルイ」をモデルとした新型海賊船を建造します。バリアフリー化を進める他、船内のアミューズメント性を向上させます。
- 2013年春 箱根ロープウェイ大涌谷駅の新駅舎が完成**
大涌谷噴煙地の雄大な景観に調和したデザインで、風力発電装置の設置等、省エネ・自然環境の保護に配慮した駅舎となります。噴煙地を一望できるレストランも登場します。
- 2013年春 箱根湯本に新しい日帰り温泉施設が誕生**
貸切個室露天風呂を首都圏最大級となる19室用意します。箱根湯本駅から無料送迎バス3分で、都会の喧騒を離れた箱根の豊かな自然を満喫できます。
- 2014年春 箱根登山電車の新型車両が誕生**
景色を楽しむ展望ゾーンと、車窓と旅を楽しむクロスシートゾーンを配した新型車両を製造します。登山電車ならではの情緒あふれる旅と豊かな自然をお楽しみいただけます。

詳しくは、次ページからの説明文をご覧ください。

1 . 箱根海賊船 新型海賊船の建造

箱根観光船株式会社(本社：神奈川県小田原市 社長：渡辺 浩司)では、初代海賊船「パイオニア」から6代目となる新型海賊船を建造します。新型海賊船は、18世紀にフランスで建造され、フランス艦隊の旗艦として活躍した第一級戦艦「ロワイヤル・ルイ」をモデルに、船首像や船内外の装飾、船体後部の特徴的な回廊など、往時の雰囲気再現します。

また、この新型海賊船では、船内に船員の人形像やラット(舵輪)等を多数配置してアミューズメント性を高めるほか、特別船室の内装やバリアフリー設備も充実させる計画です。

- | | |
|------------|---|
| (1) 編 成 | 全長35メートル、全幅10メートル |
| (2) 総トン数 | 約310トン |
| (3) 定 員 | 565名(特別船室112名、普通船室453名) |
| (4) 造船会社 | ユニバーサル造船㈱ |
| (5) 営業運転開始 | 2013年3月(予定) |
| (6) その他の特徴 | 高速ディーゼルエンジン2機、バウスラスタ2基を搭載し、悪天候時や港発着時の操船性を高めます。また、エレベーター、バリアフリートイレをそれぞれ1箇所設置します。 |
| (7) 建 造 費 | 約10億円 |

【箱根海賊船 新型海賊船のイメージ】



2 . 箱根ロープウェイ 大涌谷駅舎の建替え

箱根ロープウェイ株式会社（本社：神奈川県小田原市 社長：齋藤 康弘）では、ロープウェイの大涌谷駅舎について、駅舎機能の充実、バリアフリー化など、お客さまに快適にご利用いただくための建替え工事を進めてまいります。新駅舎は、外観を大涌谷噴煙地の雄大な景観に調和したデザインとし、風力発電装置や駅舎内にLED照明を導入するなど、省エネ・自然環境の保護に配慮します。さらに、レストランについても、展望スペースを拡充し眺望性を高めるほか、座席数を大幅に増加させて利便性、快適性の向上を図ります。

(1)所在地	神奈川県足柄下郡箱根町仙石原1251
(2)構造	地下1階(鉄筋コンクリート造)・地上2階(鉄骨造)
(3)建築面積	1,315.74㎡(連絡通路含む)
(4)延床面積	2,149.92㎡(同上)
(5)主な施設	地下1階 エレベーター1基 地上1階 インフォメーション、男女トイレ・多目的トイレ、授乳室、 救護室、売店・軽飲食コーナー、自販機コーナー 地上2階 レストラン(約100席) 男女トイレ その他 風力発電装置2基(予定)出力各1kw
(6)竣工	2013年4月下旬(予定)
(7)総工費	約10億円

【箱根ロープウェイ 大涌谷駅舎のイメージ】



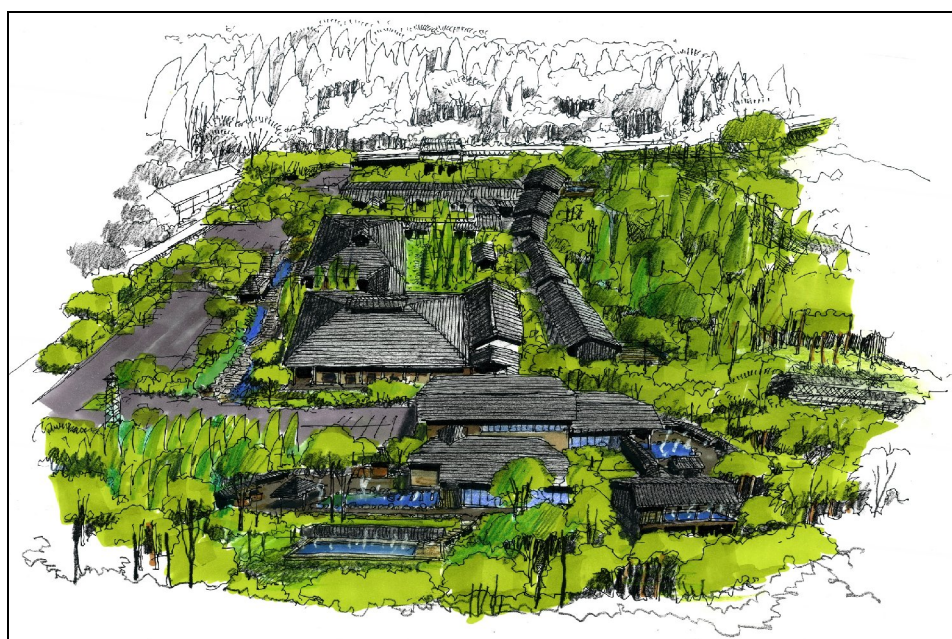
3 . 箱根湯本温泉 日帰り温泉施設の新設

箱根施設開発株式会社（本社：神奈川県小田原市 社長：和田 雅邦）では、箱根登山線箱根湯本駅から無料送迎バス3分という駅至近に立地し、現在ひめしゃらの湯として営業している日帰り温泉施設を大幅に拡充した、新しい日帰り温泉施設を建設します。新たな施設は、古民家風の里山温泉をイメージした「里山 湯治村」をコンセプトとし、最大の特徴である貸切個室露天風呂は、個室の数として首都圏最大級となる19室用意します。

また、既存の温泉施設においても、露天風呂の増設、壺風呂、サウナの増設、内風呂の内装改修、休憩室の拡充などによって新規施設との一体感を出した、一日ゆったり滞在できる日帰り温泉施設に生まれ変わります。

- | | |
|---------|--|
| (1)所在地 | 神奈川県足柄下郡箱根町塔ノ沢4 |
| (2)構造 | 新築 木造平屋建て
既存 鉄筋コンクリート造 2階建て |
| (3)敷地面積 | 9,785.73㎡ |
| (4)延床面積 | 新築 1,160.30㎡
既存 1,228.12㎡ 合計 2,388.42㎡ |
| (5)新設施設 | 貸切個室露天風呂 19室（うち1室はバリアフリー対応）
レストラン棟 癒し処棟 本館受付棟
男女共用休憩室 女性専用休憩室 壺風呂（男女各1箇所）
サウナ（男女各1箇所） |
| (6)増設施設 | 露天風呂（男女各1箇所） 洗い場（男女とも） |
| (7)開業 | 2013年3月（予定） |
| (8)総事業費 | 約7億円 |

【箱根湯本温泉 日帰り温泉施設のイメージ】



4 . 箱根登山電車 新型車両の製造

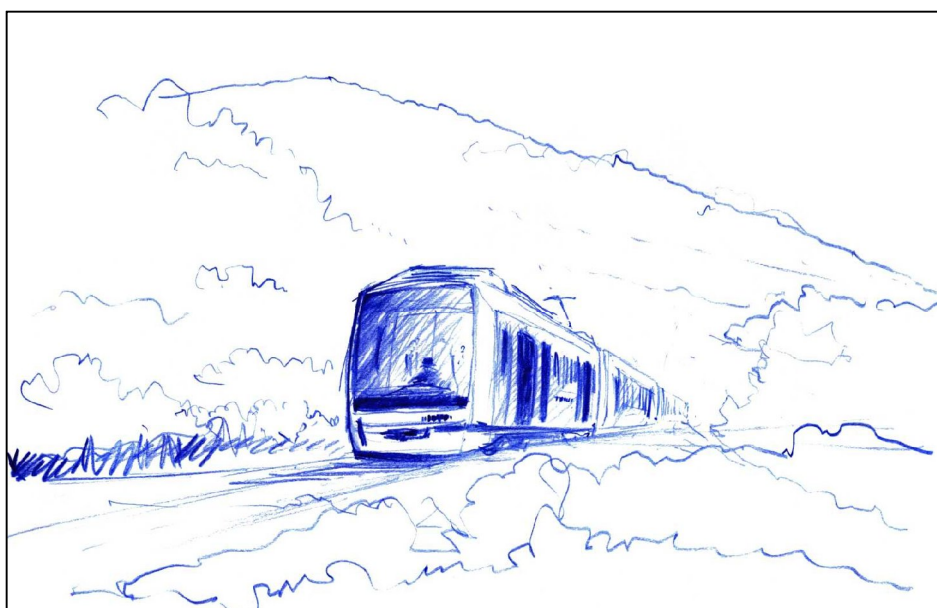
箱根登山鉄道株式会社（本社：神奈川県小田原市 社長：和田 雅邦）では、17年振りに新型登山電車を製造いたします。単車を2両製造し、通常は既存の2000形2両編成に連結して3両編成として運転します（新型登山電車同士の2両編成での運転も可能）。これにより、最繁忙期には全ての列車を3両編成とすることができ、利便性が向上いたします。

デザイン設計は、小田急ロマンスカー・VSE（50000形）などをデザインした岡部 憲明アーキテクチャーネットワーク（代表：岡部 憲明氏）に依頼。箱根登山電車の伝統を踏まえながら、箱根の自然にマッチした車体デザインのほか、風景を存分に楽しめる快適な居住空間を提供する車内レイアウトを目指します。また、箱根登山電車初となるVVVFインバータ制御の採用により使用電力を削減するなど、環境対策への取り組みも進めてまいります。

- (1) 車両型式 3000形（仮）
- (2) 編 成 単車
- (3) 定 員 約80名（立席定員を含む）
- (4) 製造両数 単車を2両
- (5) 竣 工 2013年10月（予定）
- (6) 営業運転開始 2014年4月（予定）
- (7) 主な特徴

展望窓の配置や側面ガラスの大型化など風景を存分に楽しめるレイアウトとします。車両中央にクロスシートを配置するほか、車いすスペースや4ヶ国語を表示する車内案内表示器を設置し、快適な居住空間の提供と車内案内の充実を図ります。VVVFインバータ制御のほか、回生ブレーキ、LED照明を採用するなど、環境に優しい車両を目指します。

【箱根登山電車 新型車両のイメージ】



(8) デザイン設計 岡部憲明アーキテクチャーネットワーク (代表 岡部憲明氏)
車体外装および居住性を含めた内装デザインをトータルに依頼し、技術と一体化したトータルデザインとします。

岡部憲明氏の参加プロジェクト例

小田急ロマンスカー・VSE (5 0 0 0 0 形)、MSE (6 0 0 0 0 形)

ポンピドゥーセンター (フランス・パリ)

関西国際空港旅客ターミナル (大阪府)

(9) 総製作費 約 8 億円

本ニュースリリースに記載の情報は、2012年5月14日時点の計画であり、今後、営業開始までの間にそれぞれの計画に変更等が生じる場合がございます。

以 上

箱根海賊船

1950年に小型船2隻で開業し、箱根ゴールデンコース完成後の1964年には初代海賊船「パイオニア」が就航し、これにより飛躍的にお客さまが増加しました。現在では、桃源台港、箱根町港、元箱根港を結ぶ海賊船（ロワイヤル、バーサ、ビクトリー）3隻を運航しています。2007年に5代目となる海賊船ビクトリーを導入した際には、湖の遊覧船としては日本初のバリアフリー化（エレベーター、点字ブロック、運航表示装置等）を実現し、高い安全性や快適な移動空間を提供しています。

箱根ロープウェイ

早雲山駅～桃源台駅間を結ぶ箱根ロープウェイは、全長約4 Kmで、観光用ロープウェイとしては世界有数の長さを誇ります。また、約130 mの高さから勇壮な大涌谷を見下ろすことができます。2000年から懸案だった山岳特有の強風による運休を大幅に減らすためのプロジェクトをスタートし、2007年には全面架け替え工事が完了しました。風に対する安定性と快適な乗り心地に優れたフニテル方式（複式単線自動循環式）を採用しています。こうした効果もあり、創業以来50年間で6500万人以上のお客さまにご乗車いただき、2009年に最も多くの方が乗車しているロープウェイとして年間有料乗車人員でギネス世界記録認定™を受け、2010年にはその記録を更新しました。また、ゴンドラとホームの段差を解消し、車いすでの乗車が可能になったほか、各駅の構内には赤ちゃん休憩室（授乳室）を設置し、お子さまからご家族、高齢者、お体の不自由な方が安心して楽しめる、快適な空間を提供しています。2009年には「第2回国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰」を受賞しました。

ひめしゃらの湯

ひめしゃらの湯は1997年に開業し、箱根登山線箱根湯本駅から無料送迎バス3分、塔ノ沢駅からも程近いところに位置し、敷地内にある3本の自家源泉を使用しています。泉質は美肌効果のあるアルカリ性単純温泉。周囲を木々に囲まれ、温泉と同時に四季折々の自然を感じながらゆったりとした気分で森林浴まで楽しめる日帰り温泉施設です。露天風呂のある場所を含めたこの付近一帯には、ひめしゃらの木が植えられていました。そこから現在のひめしゃらの湯という名が付けられました。

源泉名：ひめしゃら源泉

泉質：アルカリ性単純温泉

適応症：神経痛・筋肉痛・関節痛・五十肩・運動麻痺・関節のこわばり・うちみ・くじき・慢性消化器病・痔疾、冷え性・病後回復期・疲労回復・健康増進

箱根登山電車

1919年の箱根湯本駅～強羅駅間の登山鉄道線運行開始以来、日本における有数の山岳鉄道としてお客さまに親しまれております。箱根登山電車の登る最急勾配80パーミル（1000m進むと高低差が80m）は、粘着運転方式（補助機能を使用せず普通の鉄道と同じ運転方式）では日本一の急勾配で、これを3回のスイッチバックでジグザグに登っていきます。登山電車からは、桜・あじさい・紅葉など、四季折々の車窓をお楽しみいただけます。特に、6月中旬から7月中旬にかけて沿線にあじさいが咲き誇り、あじさい電車として親しまれています。この時期に合わせた「夜のあじさい号」などの企画・イベントも実施しています。2010年には「第1回かながわ観光大賞（プロモーション部門）」を受賞しました。また、登山鉄道線開通までには数々の難問がありましたが、それらの問題を解決するために大いに参考にしたことが縁で、1979年にスイス・レーティッシュ鉄道との間に姉妹鉄道提携が結ばれ交流が続いています。

箱根ゴールデンコース

